

さいがいじょうえんごしゃ じじよ 災害時要援護者の自助の取り組みは

地域の人との積極的なコミュニケーション

○ひとりで避難するのに不安がある人は、日頃から地域の人とあいさつを交わすなど交流を深め、支援してもらえよう、話しておきましょう。

○消防署や病院、避難支援者などの連絡先を確認しておきましょう。



ひなんしえんせいど 避難支援制度への登録

○避難に支援が必要な人や、不安のある人は、市の避難支援制度に登録しましょう。

○民生委員や町内会（自主防災組織）の人が、状況把握のため訪問します。

災害時の助け合いをスムーズにするため積極的に協力しましょう。

防災訓練への参加

○防災訓練へ積極的に参加し、避難経路や危険箇所、避難所などを確認しておきましょう。

○災害時にどのような支援が必要か、訓練を通して確認し、地域の人にも伝えましょう。

住まいの安全環境の整備

○家具の転倒防止金具等の設置や、住宅の耐震補強など、住まいの安全環境を整えましょう。

○普段使っている薬を、いつでも持ち出せるよう用意しておきましょう。



ひなんしえんしゃ きょうじよ 避難支援者の共助の取り組みは

さいがいじょうえんごしゃ 災害時要援護者との積極的なコミュニケーション

○日頃から近所に住む高齢者や障害者とあいさつを交わすなど、交流を持ちましょう。

○町内会活動や、ボランティア活動への参加を通じて、高齢者や障害者と接する機会を持ちましょう。

さいがいじょうえんごしゃ はあく 災害時要援護者の把握

○近くに災害時要援護者が住んでおられたら、プライバシーや本人の意思などに配慮しながら、地域の皆さんでどのような支援ができるか話し合しましょう。

じしゅぼうさいそしき 自主防災組織などによる支援

○寝たきりの人や身体の不自由な人を支援する方法として、担架や車椅子などを用意しましょう。

○災害が起こったときの情報伝達や安否確認、避難支援などの役割分担を考えておきましょう。

○避難支援者が支援できない場合を想定して、複数の人で手助けできる体制をつくっておきましょう。



防災訓練への参加

○災害時要援護者と一緒に避難経路や避難所を確認し、避難時のニーズを把握しておきましょう。

○災害時に避難支援する人も冷静な対応ができるよう、定期的な訓練が大切です。

○目や耳の不自由な人などがいますので、訓練の内容を工夫し、車椅子やリヤカーなどを使い、危険箇所を避けて避難所までたどりつけるか確認しておきましょう。